



ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」が北海道立近代美術館に導入されました

スマートフォンを利用して展示解説などを楽しめるミュージアム向け無料ガイドアプリ「ポケット学芸員」（開発元：早稲田システム開発株式会社（東京都新宿区））のサービスが、令和5年11月3日に北海道立近代美術館（北海道札幌市）に導入されたことを本日12月18日にお知らせします。



ただきました。おかげでクオリティの高い音声ガイドを作成できたとのことです。

北海道立近代美術館について

北海道立近代美術館は、地域性と国際性を併せ持つ総合的近代美術館の構想のもとに、1977年7月、札幌市のほぼ中心部にオープンしました。北海道の文化拠点として、そして誰もが心ゆたかにアートに触れられる憩いと学びの場として、コレクションの充実、多彩な展覧会と教育プログラム、調査研究活動などを進めています。

導入の背景

これまで北海道立近代美術館では、彫刻作品に手で触れながら鑑賞する「ふれるかたち」という展示企画を実施して、視覚のみに頼らない触覚的な鑑賞機会を提供するとともに、視覚に障害のある方々にも作品の鑑賞を楽しんでいただけるよう取り組んできました。しかしコロナ禍によりそうしたハンズオンの展示企画が困難となり、代替の企画や教育普及事業が求められていました。またコロナ禍においては、ギャラリートークのような教育プログラムも、実施回数や参加人数を減らすなど、多くの制限を設けざるを得なくなりました。そうしたなかで、人数や実施形態等に縛られることなく参加可能な教育プログラムへの要請が高まり、利用者がそれぞれのスマートフォンを使って、自由に、好きなタイミングで体験できる音声ガイドの導入に至りました。

ポケット学芸員選定理由

ポケット学芸員は専用の機器を用意する必要がないということが選定の大きなポイントでした。またここ数年で、美術館が発信する情報をホームページやSNSから得る方々が飛躍的に増加していることが同館のイベント参加者へのアンケートで明らかになっていましたので、インターネットを通じて音声ガイドを提供するという点にも抵抗はなかったそうです。

配信コンテンツの特徴

同館では、年間を通じて音声ガイドを利用していただくために、展示替えをしない館内外の彫刻作品を中心にコンテンツを制作しました。コンテンツは随時追加・更新を予定しています。また市内の高校に協力を依頼し、放送局の生徒さんに音声の吹き込みをしてい

導入施設

北海道立近代美術館

〒060-0001

札幌市中央区北1条西17丁目

TEL 011-644-6881

<https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/knb/>

2023年12月1日時点でサービス提供中 および提供予定のミュージアム

北海道博物館／北海道開拓の村／北海道立近代美術館／北海道立三好太郎美術館
／札幌芸術の森美術館／札幌芸術の森野外美術館／アイヌ文化交流センター(サッポロ
ピリカコタン)／だて歴史文化ミュージアム／史跡北黄金貝塚公園／中島・湖の森博物館
／洞爺湖有珠山ユネスコ世界ジオパーク／史跡入江・高砂貝塚／入江・高砂貝塚館／と
うや湖ぐるっと彫刻公園／洞爺湖芸術館／八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館／八戸
市博物館／史跡根城の広場／一関市博物館／岩手県立博物館／花巻市博物館／仙台
市博物館／石巻市博物館／歴史と文化の美術館 わらべの里／大山忠作美術館／諸橋
近代美術館／いわき震災伝承みらい館／茨城県近代美術館／ミュージアムパーク茨城県
自然博物館／予科練平和記念館／徳川ミュージアム／歴史と未来の交流館／群馬県立
土屋文明記念文学館／飯能市立博物館 きつとす／戸田市立郷土博物館／鉄道博物館
(さいたま市)／入間市博物館ALIT／旧石川組製紙西洋館／旧黒須銀行／造幣さいたま
博物館／埼玉県立近代美術館／浦安市郷土博物館／世田谷区立次大夫堀公園民家園
／松岡美術館／新宿区立漱石山房記念館／パルテノン多摩ミュージアム／くにたち郷土
文化館／東京富士美術館／国立印刷局 お札と切手の博物館／慶應義塾大学／八王
子市絹の道資料館／賀川豊彦記念松沢資料館／福生市郷土資料室／北区飛鳥山博物
館／桑都日本遺産センター八王子博物館／東京家政大学博物館／紙の博物館／世田
谷区立郷土資料館／世田谷区立岡本公園民家園／昭和館／船の科学館／しょうがい館
(戦傷病者史料館)／消防博物館／田端文士記念館／郷さくら美術館／青梅市郷土博物
館／横須賀美術館／神奈川県立歴史博物館／川崎市岡本太郎美術館／箱根町立郷土
資料館／ニュースパーク(日本新聞博物館)／大和市つる舞の里歴史資料館／あつぎ郷
土博物館／横須賀市自然・人文博物館／小林古径記念美術館／富山県[立山博物館]／
富山県水墨美術館／高志の国文学館／小松市立宮本三郎美術館／小松市立博物館／
福井市立郷土歴史博物館／名勝養浩館庭園／福井県立歴史博物館／福井県立一乗谷
朝倉氏遺跡資料館／敦賀市立博物館／山梨県立美術館／長野市立博物館／高橋まゆ
み人形館／松本市時計博物館／松本市立博物館／大垣市守屋多々志美術館／大垣市
立墨俣図書館／岐阜県博物館／大垣市日本昭和音楽村江口夜詩記念館／中津川市鉾
物博物館／大垣市墨俣さくら館／スイトピアセンター 学習館／大垣市立図書館／大垣
市上石津郷土資料館／大垣市輪中館・輪中生活館／大垣市奥の細道むすびの地記念館
／大垣市歴史民俗資料館／スイトピアセンター 文化会館／大垣郷土館／大垣市立上
石津図書館／多治見市モザイクタイルミュージアム／大垣城／大垣市金生山化石館／
赤坂港会館／旧清水家住宅／墨俣一夜城(墨俣歴史資料館)／東御門・巽櫓／静岡市歴
史博物館／田原市博物館／豊橋市二川宿本陣資料館／稲沢市荻須記念美術館／碧南
市藤井達吉現代美術館／刈谷市歴史博物館／彦根城博物館／滋賀県立琵琶湖博物館
／史跡草津宿本陣／草津市立草津宿街道交流館／向日市文化資料館／大阪市立東洋
陶磁美術館／シマノ自転車博物館／大阪国際平和センター(ピースおおさか)／貝塚市善
兵衛ランド／造幣博物館／大阪市立科学館／兵庫県立歴史博物館／神戸ビーフ館／小
林一三記念館／姫路市立美術館／但馬牛博物館／奈良文化財研究所／松江歴史館／
松江ホーランエンヤ伝承館／島根県立宍道湖自然館ゴビウス／島根県立美術館／みよし
風土記の丘ミュージアム(広島県立歴史民俗資料館)／ふくやま文学館／造幣局広島支局
造幣展示室／広島市現代美術館／ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)
／湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)／UBEビエンナーレ(現代日
本彫刻展)／中原中也記念館／萩博物館／高松市公文書館／香川県立ミュージアム／
瀬戸内海歴史民俗資料館／高松市美術館／菊池寛記念館／高松市埋蔵文化財セン
ター／高松市平和記念館／高松市讃岐国分寺跡資料館／特別史跡讃岐国分寺跡史跡
公園／上島町岩城郷土館／愛媛県総合科学博物館／高知市立自由民権記念館／高知
県立坂本龍馬記念館／高知県立歴史民俗資料館／高知県立美術館／横山隆一記念ま
んが館／嘉麻市立織田廣喜美術館／筑前町立大刀洗平和記念館／北九州市立文学館
／北九州市立いのちのたび博物館／佐賀県立博物館・美術館／佐賀県多久市／佐賀県
立九州陶磁文化館／長崎歴史文化博物館／熊本県立美術館／熊本県立装飾古墳館／
熊本博物館／臼杵市歴史資料館／種子島開発総合センター「鉄砲館」／かこしま環境未
来館／鹿児島県歴史・美術センター黎明館／鹿児島県立博物館／天城町歴史文化産業
科学資料センター「ユイの館」／

ポケット学芸員の概要

「ポケット学芸員」は、スマートフォンを利用して展示解説を閲覧・視聴できるガイドアプリです。ひとつのアプリを複数のミュージアムで共同的に使える点が特徴で、スマートフォンにインストールしておけば、全国のサービス実施館で展示ガイドを利用することができます。ガイド内容は、それぞれの博物館・美術館が独自に工夫して制作する仕組みを採用。館によってテキスト画面だけでなく写真や動画、音声など多様なスタイルで情報が配信されています。

アプリの詳細情報はここから

「ポケット学芸員」ホームページ

<http://welcome.mapps.ne.jp/pocket>



アプリのダウンロードはここから

ポケット学芸員は、GooglePlay／App Storeにて、無料でダウンロードいただけます。「ポケット学芸員」と検索してください。

(推奨OS：Androidは5.0以上、iOSは10.0以上)

Android

<https://play.google.com/store/apps/details?id=p.co.waseda.pocket.curator>



iOS

<https://itunes.apple.com/jp/app/pocket-curator/id1088763931?mt=8>



「ポケット学芸員」導入ご検討施設の皆様

ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」は、クラウド型収蔵品管理システム「I.B.MUSEUM SaaS」の機能の一部です。導入には「I.B.MUSEUM SaaS」のご契約が必要となります。

【お問い合わせ窓口】

早稲田システム開発株式会社

TEL：03-6457-8585

Email:sales@waseda.co.jp

【Webお問い合わせフォーム】

<http://www.waseda.co.jp/contact>